

西中学校評価だより

UNESCO・西中
自立、共生、貢献
2022・3・3

2学期末に行われた「見附市共通アンケート」や「学校独自アンケート」の結果をもとに、1学期と比較し来年度へ向けた西中学校の教育課題についてお知らせします。

知 <確かな学力の定着>

学習への取組

肯定的評価が85%以上を「A」、70%以下を「C」として評価判定しています。

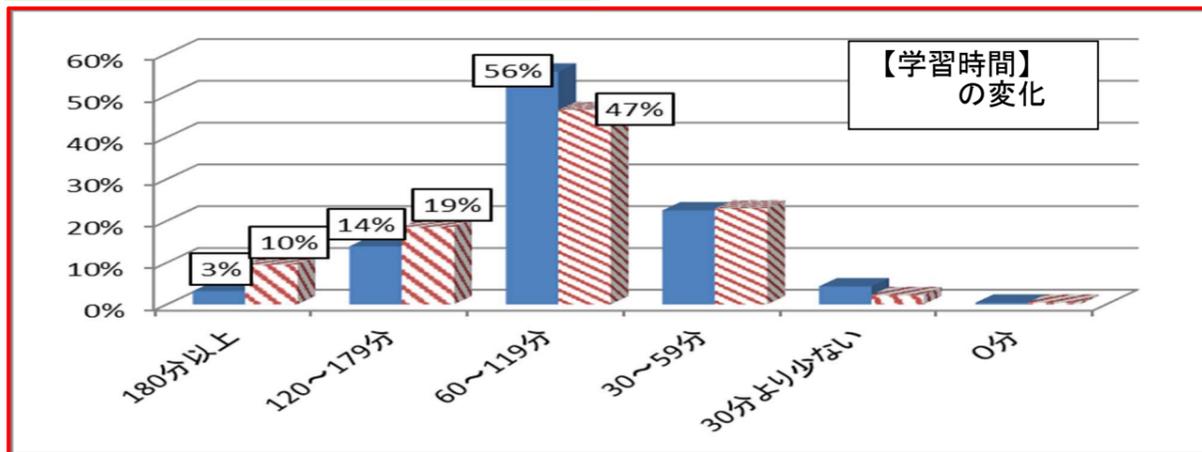
(1)【家庭学習の日数】一週間に何日くらい家庭学習をしていますか。(宿題、学習塾を含む)



質問教室の様子



評価：A
肯定的評価（4,5日以上）は1年生 97.8% → 97.7%、2年生 98.9% → 97.8%、3年生 96.4% → 97.9%と各学年とも高い肯定率になりました。また、見附市内の2学期の中学校平均値90%に対して、西中は98%と市内4校中最も高い結果となりました。学習時間も昨年度に比べ、2時間以上の生徒が大幅に増えています。



(2)「学校独自アンケート」での生徒から授業に対する下のようなアンケートを行っています。

「もっと学びたい」「もっとできるようになりたい」という意欲をもって、集中して授業に取り組むことができた。

	国語	社会	数学	理科	英語	音楽	美術	保体	技術	家庭
1学期	93%	91%	96%	95%	95%	96%	97%	97%	96%	95%
2学期	95%	98%	95%	98%	95%	94%	98%	97%	97%	93%

授業の内容を理解したり、技能を身につけたりすることができた。

	国語	社会	数学	理科	英語	音楽	美術	保体	技術	家庭
1学期	93%	88%	93%	91%	94%	94%	98%	93%	94%	96%
2学期	95%	91%	91%	92%	96%	95%	97%	96%	98%	95%

ノートの取り方を工夫したり、話し合い活動に積極的に取り組んだりすることで、新しい気づきを得たり、より理解を深めたりすることができた。

	国語	社会	数学	理科	英語	音楽	美術	保体	技術	家庭
1学期	92%	90%	94%	91%	95%	92%	95%	96%	94%	97%
2学期	93%	93%	94%	93%	95%	93%	97%	97%	97%	94%

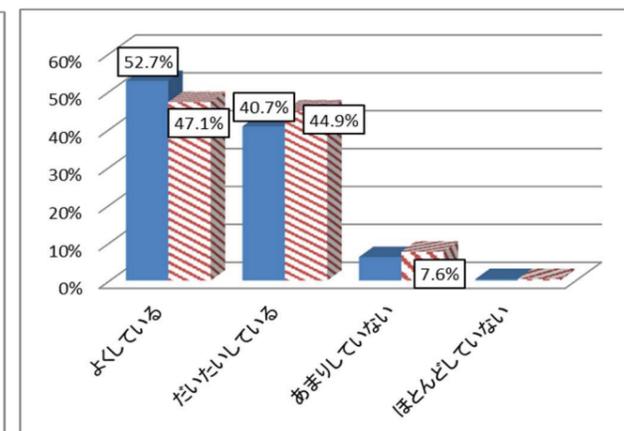
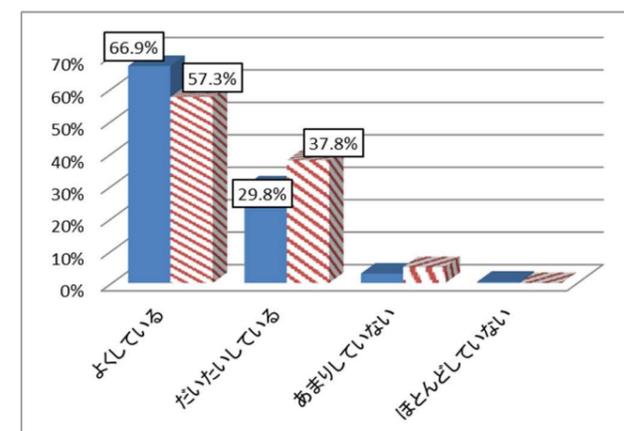
市内中学校すべてにおいて、完全下校時刻通年 17:30 としたことに伴い、生徒の計画的に時間を使う資質・能力と、主体的に生活する態度の育成に努めてきました。具体的には週末課題や自主学習の奨励などを通して、家庭学習の習慣化を図ってきました。アンケート結果から下校時間が早まったことで生じた時間を家庭学習に充てている生徒が多いことが伺えます。今後も家庭学習を行う時間を確保し、帰宅後の「主体的な学び」の指導を続けていきます。また、予習に取り組む生徒の割合も10%以上増加しました。このことが学習意欲の高まりや授業の深い理解につながっていることも伺えます。これからも家庭学習の定着にご協力ください。

徳 <豊かな心の育成>

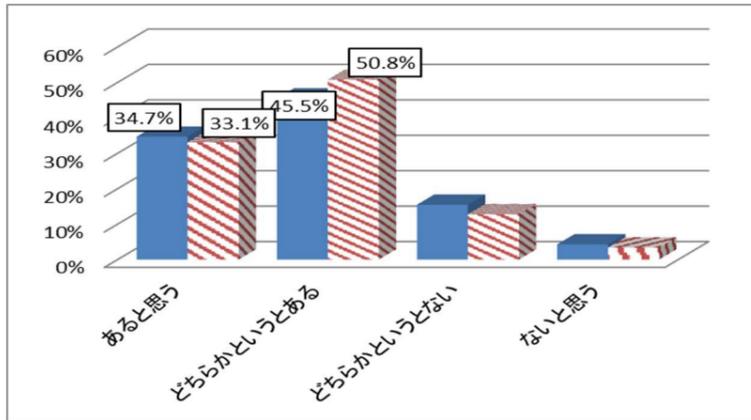


3年生 総合的な学習：SDGs「服のチカラ」プロジェクト

(1)【学校でのあいさつ】学校で友達や先生、お客さんに進んであいさつをしていますか。 (2)【地域へあいさつ】地域の人に進んであいさつをしていますか。



(3) 【自己の肯定感】自分には良いところがあると思いますか。



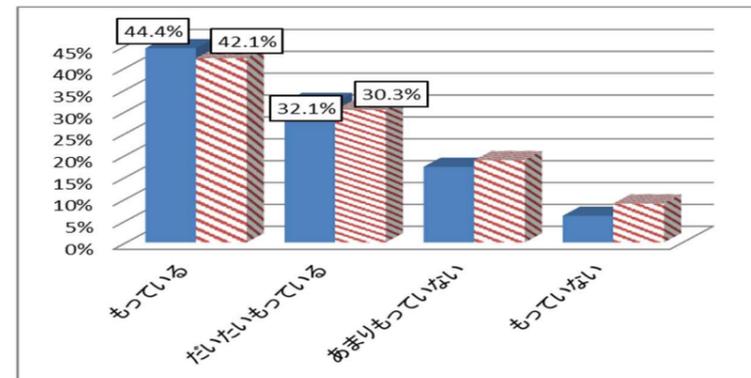
(1) 評価：A
肯定的評価が1学期 96.7%→2学期 95.1%と高い肯定率となりました。市内中学校の2学期平均も94%でした。

(2) 評価：A
1学期 93.4%→2学期 92%と高い肯定率です。昨年度より7%も上昇しています。また、昨年度は市内中学校の平均に届きませんでしたが、今年度は市内中学校の平均より4%上回る結果になりました。

(3) 評価：A
1学期 80.2%→2学期 83.9%と昨年度よりも高い肯定率です。市内の後期の中学校平均が78%で、平均を上回る結果になりました。

(4) 評価：B
1学期 76.5%→2学期 72.4%と肯定率は減少しました。また、3年連続減少しています。

(4) 【将来の目標】将来の夢や目標をもっていますか。

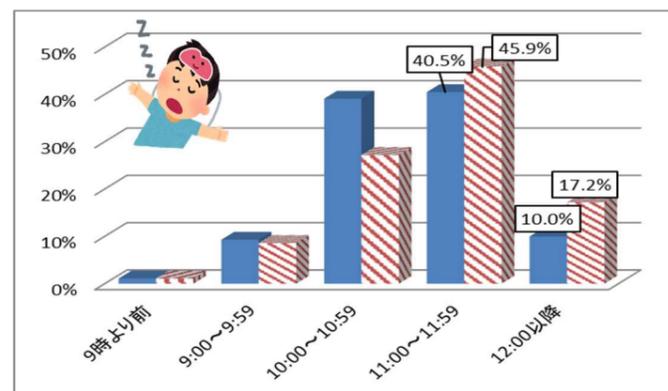


今年度も生徒自らの手で集団生活を向上させるよう、自治的・自発的活動を進めてきました。見附市が推奨している「四つ葉運動」の取組に合わせて、生徒会が中心となった「あいさつ運動」が活発に行われ、昨年度よりも高い肯定率を得る結果になりました。また、生徒同士が互いの良さを認め合うハートフル活動のおかげで、自己肯定感も上昇させることができました。今後も「リスペクトアザーズ」を合言葉に、共感的な人間関係の醸成と互いに支え合う気運のある学校づくりに努めていきます。しかし、「将来の夢や目標をもっている」項目が年々低下する結果になりました。今年度も新型コロナウイルス感染症予防対策のため体験的な教育活動に制限がかかり、予定していたキャリア教育を実施できなかったことが影響しているかもしれません。来年度は地域と関わるキャリア教育の取組を一層進め、生徒が将来への夢や希望がもてるよう、探究的・体験的活動を充実させていきます。

体 <健やかな身体>

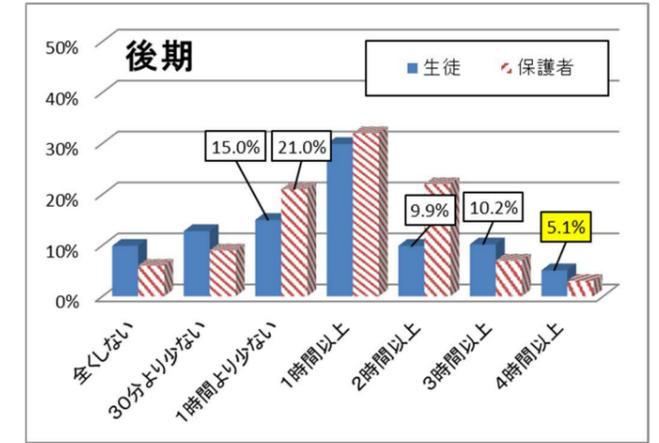
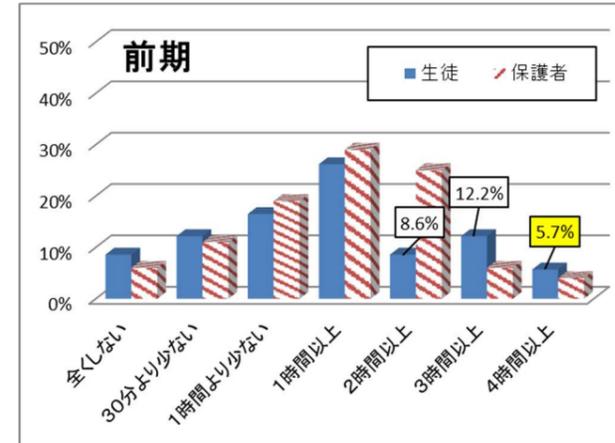
(1) 【就寝時刻】

(月曜～金曜日)、何時ごろ寝ますか。



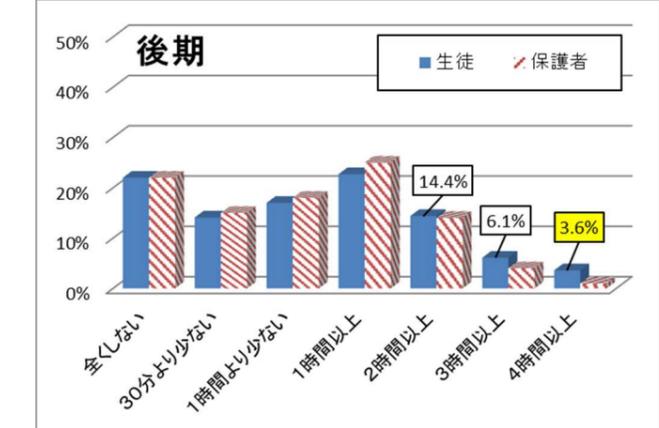
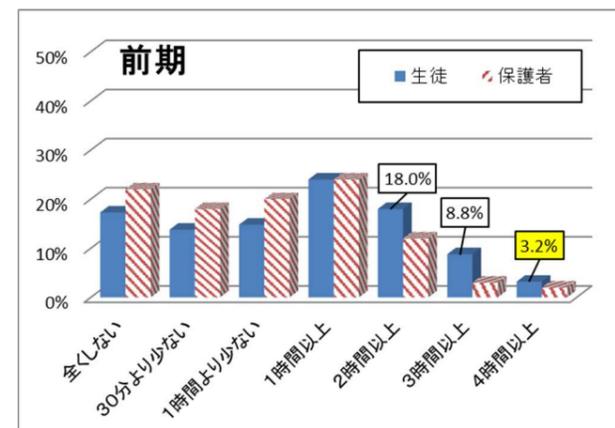
(2) 【通信機器の使用】ふだん（月曜～金曜）1日あたりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンなどで通話やメール（ラインなども含む）、インターネット（YouTubeなども含む）をしますか。

<生徒と保護者の意識の比較と1学期・2学期の変化について>



使用時間に関しては、3時間以上になると生徒と保護者の意識に差が生じ、保護者はそれほどではないと感じているようです。また、2時間以上の生徒が1学期 26.5%→2学期 25.2%と使用時間はほぼ横ばいですが、今年度も市内中学校で2時間以上使用している生徒の割合が、4校中で1番多くなっています。

(3) 【ゲーム使用時間】ふだん（月曜～金曜）1日あたりどのくらいの時間、ゲームをしますか。



通信機器使用と同じく、2時間以上の使用では生徒と保護者の意識に差が生じています。また、2時間以上の使用が1学期 30%→2学期 24.1%とやや減少しています。

今年度もメディアの使用時間が多いことがアンケート結果から伺えます。使用時間が多い生徒の割合と睡眠時間が少ない生徒の割合には相関性があることも伺えます。つまり、メディアコントロールができないことで生活習慣が乱れる結果につながっています。家庭内での使用ルールや約束を決めている割合は昨年と同じく約70%です。これからもメディアコントロールによる生活の質の向上を目指し、各家庭に合ったルール・約束づくりにご協力をお願いします。

